

第44回東京都臨床細胞学会総会・学術集会 スライドカンファレンス

症例1 子宮頸部

杏林大学医学部付属病院 病院病理部
田邊 一成

症例：70歳代女性

現病歴：なし

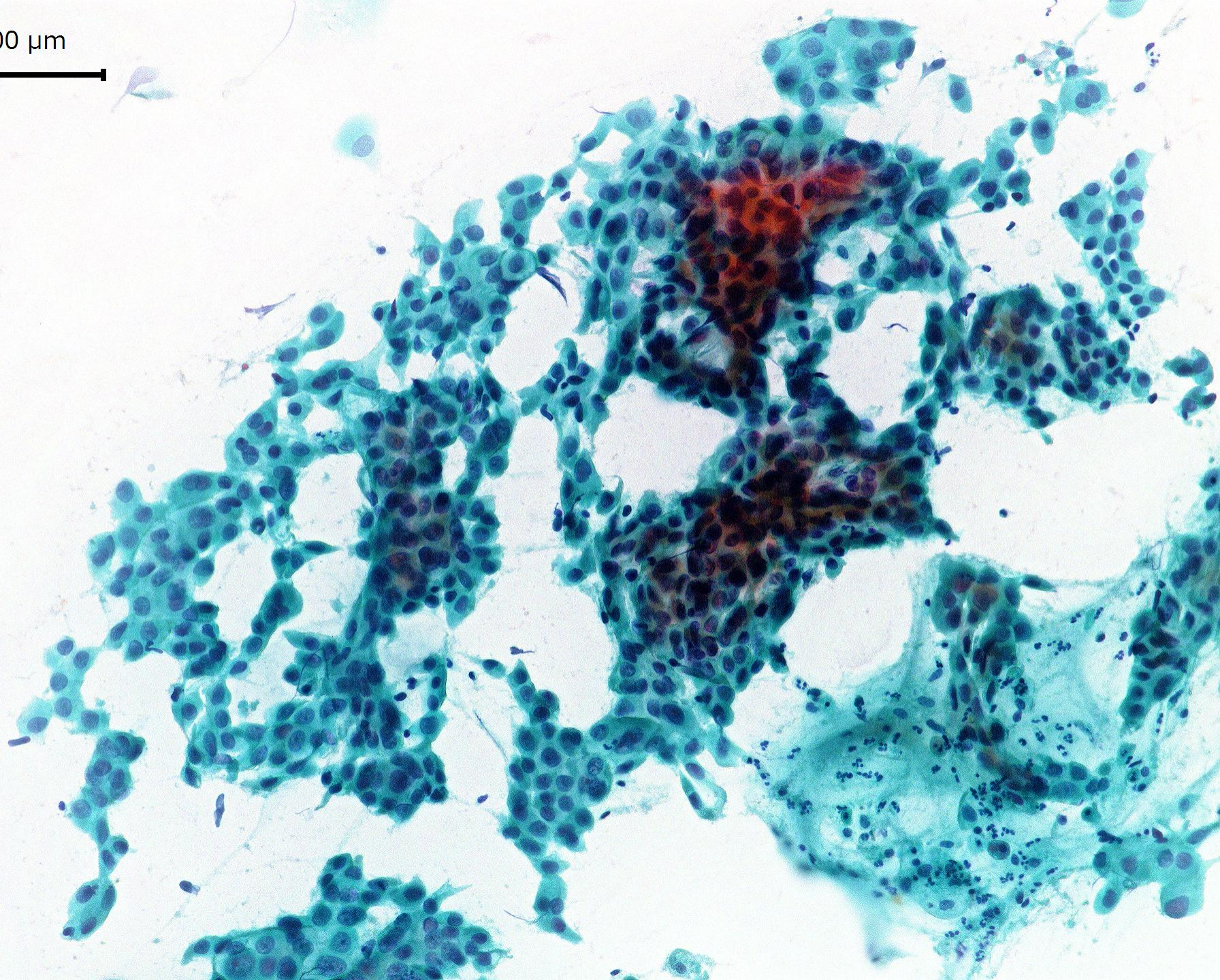
主訴：左鼠径部掻痒

経過：左鼠径部のかゆみを主訴に近医受診し、皮膚の紅斑を指摘され精査加療目的で当院を受診。

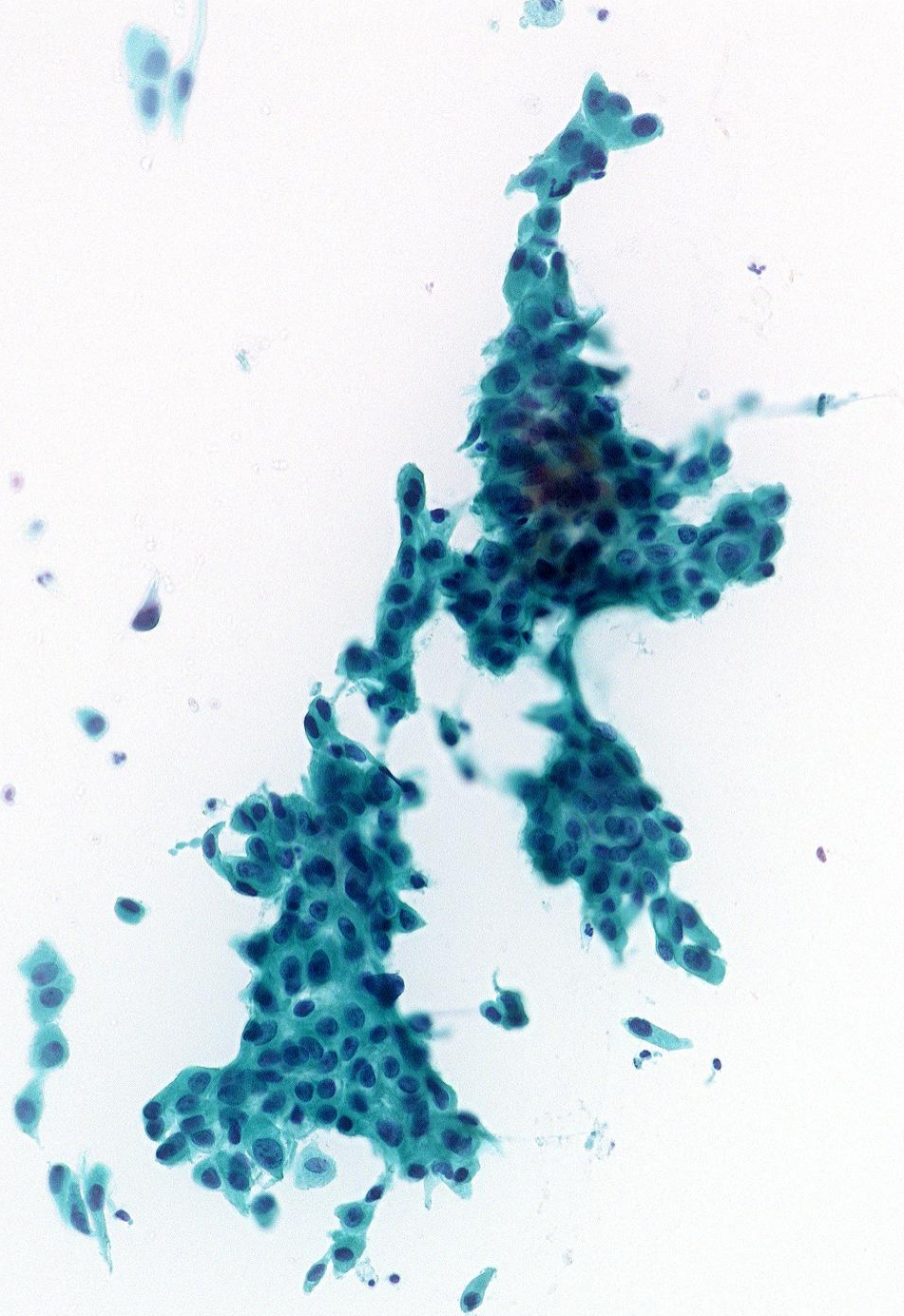
採取部位：子宮頸部

検体採取法：サイトピック

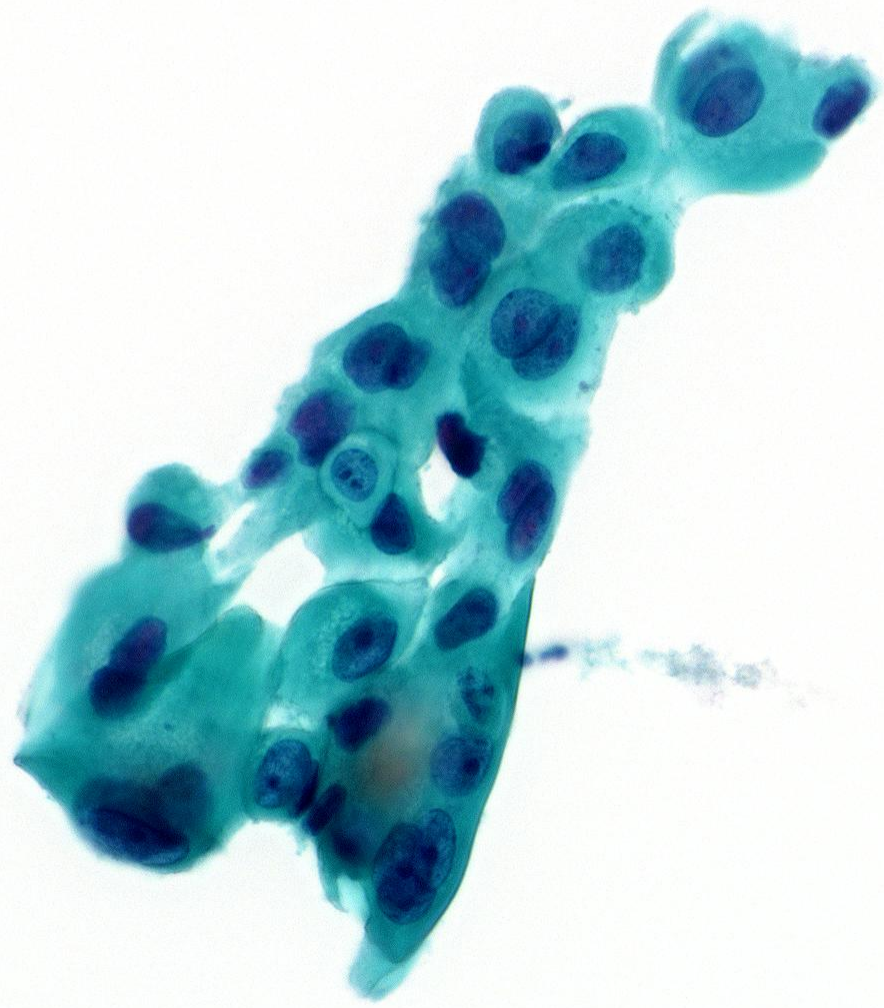
100 μm



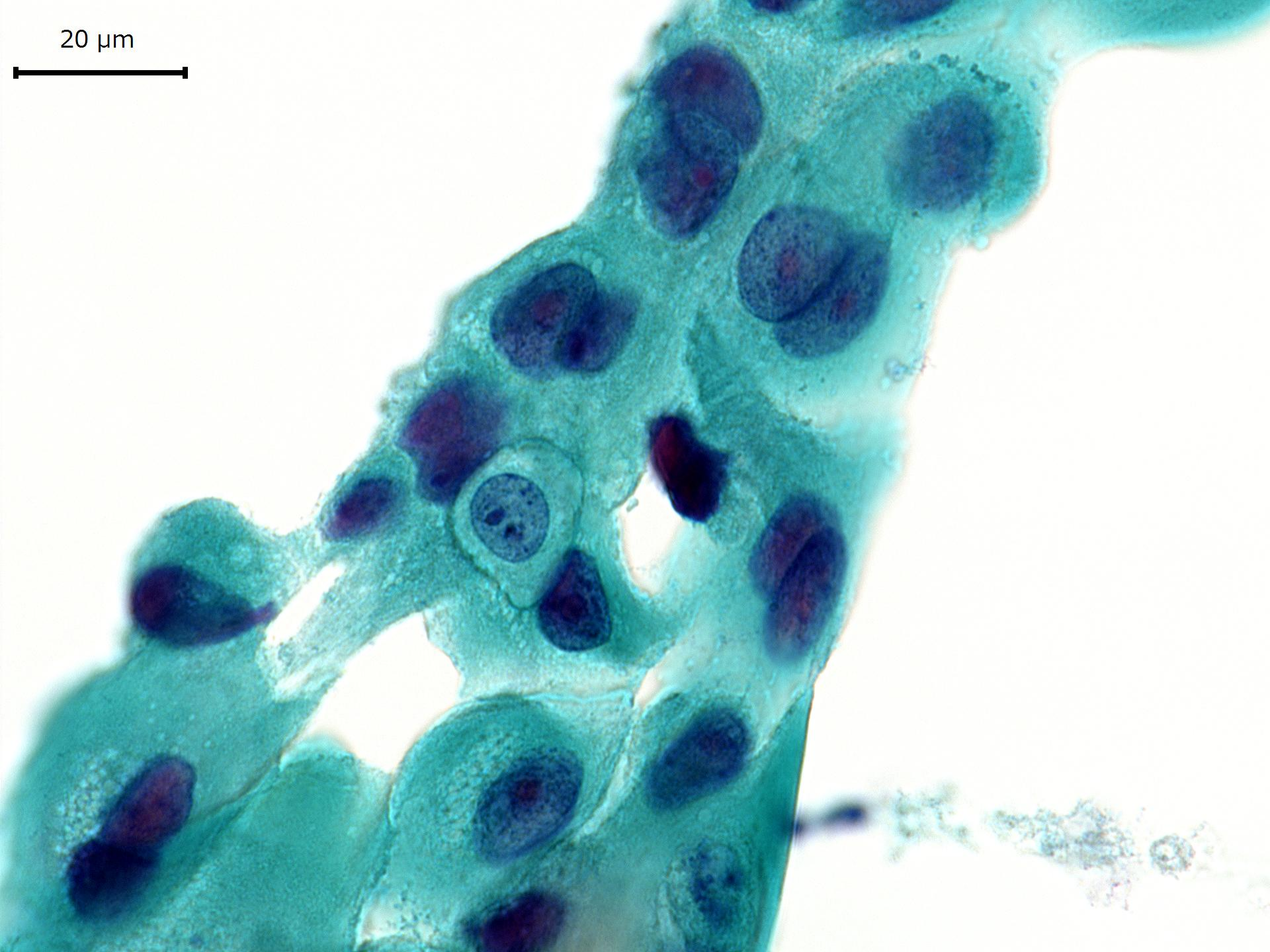
100 μm



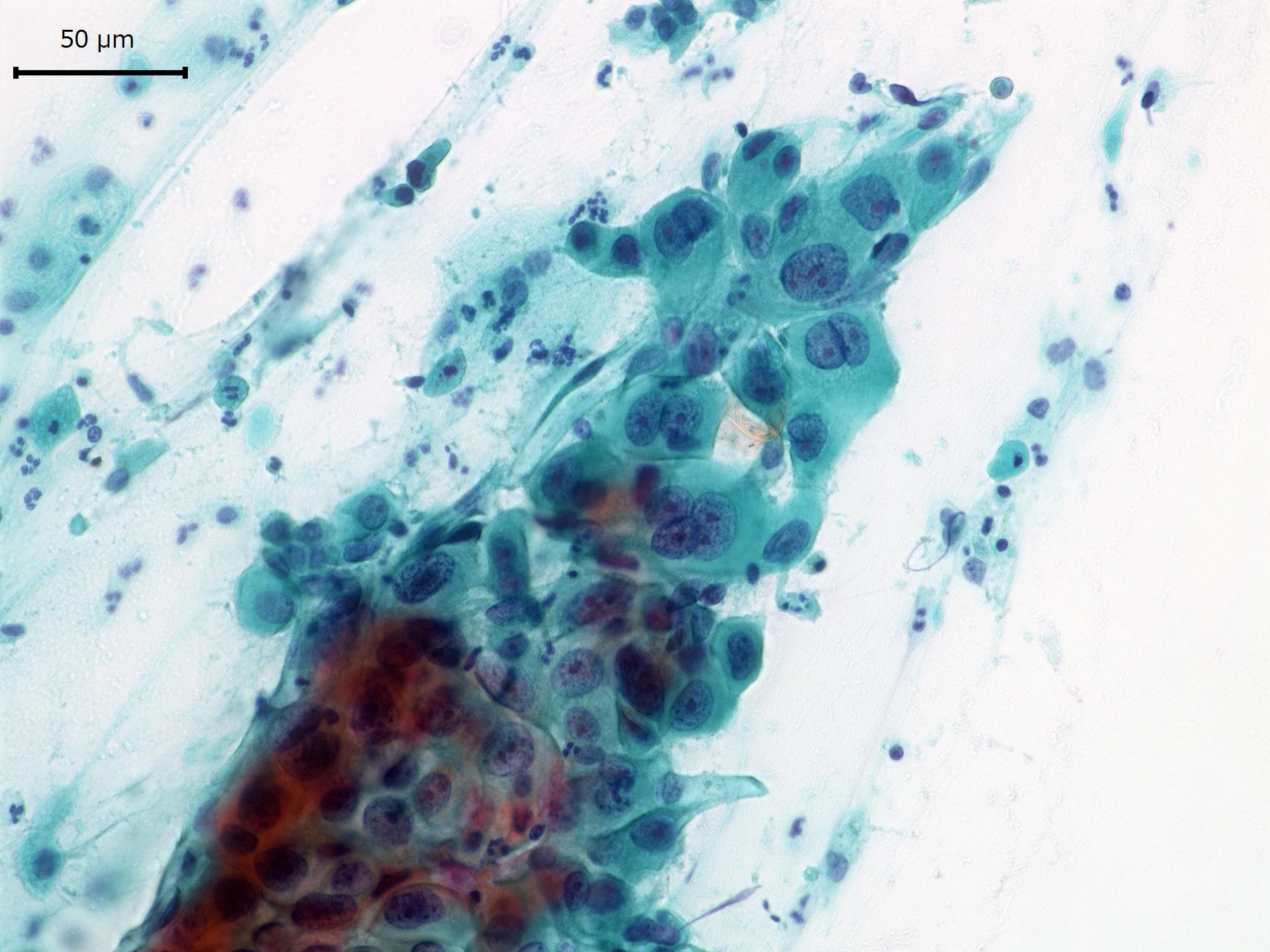
50 μm



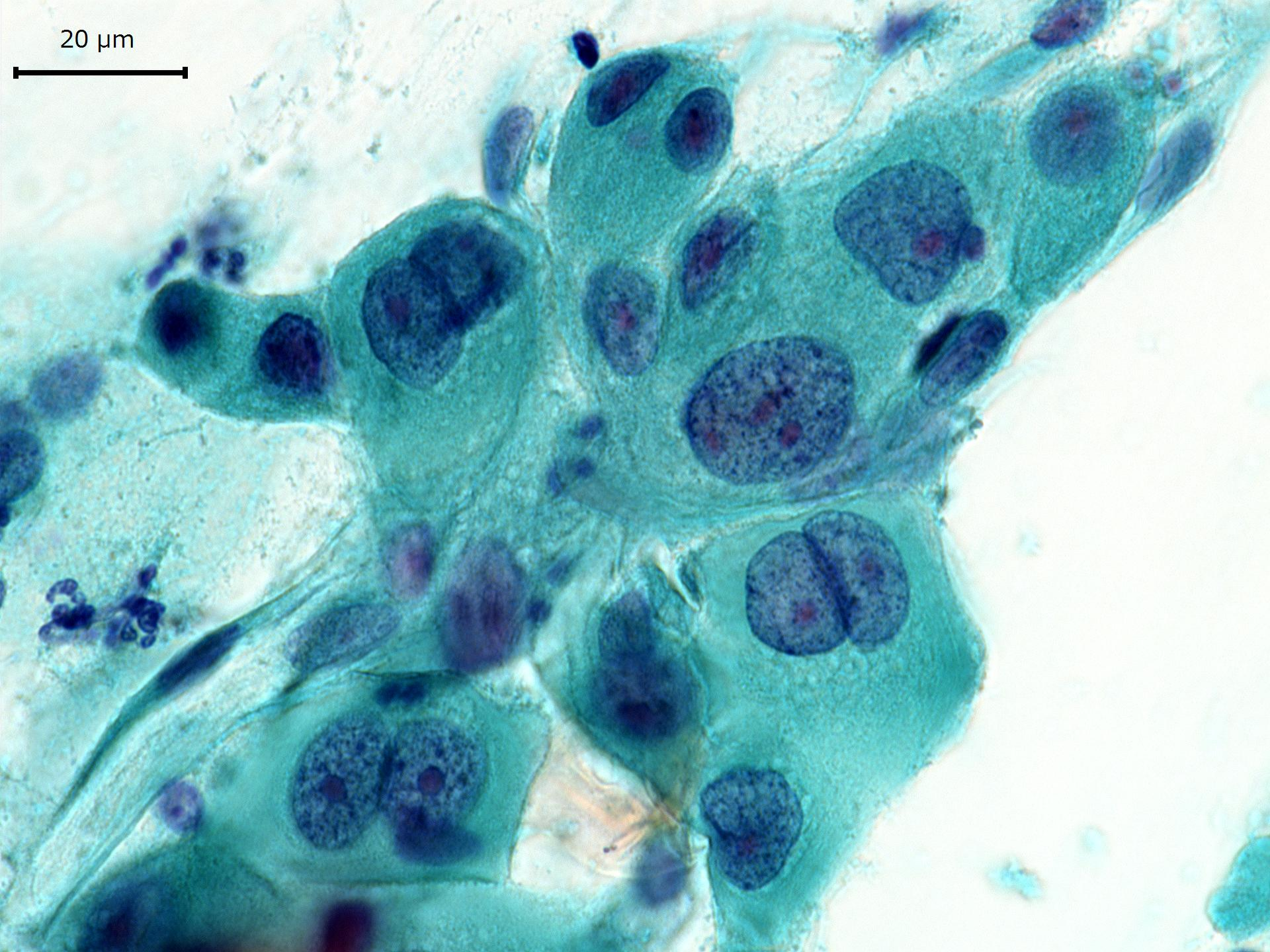
20 μm



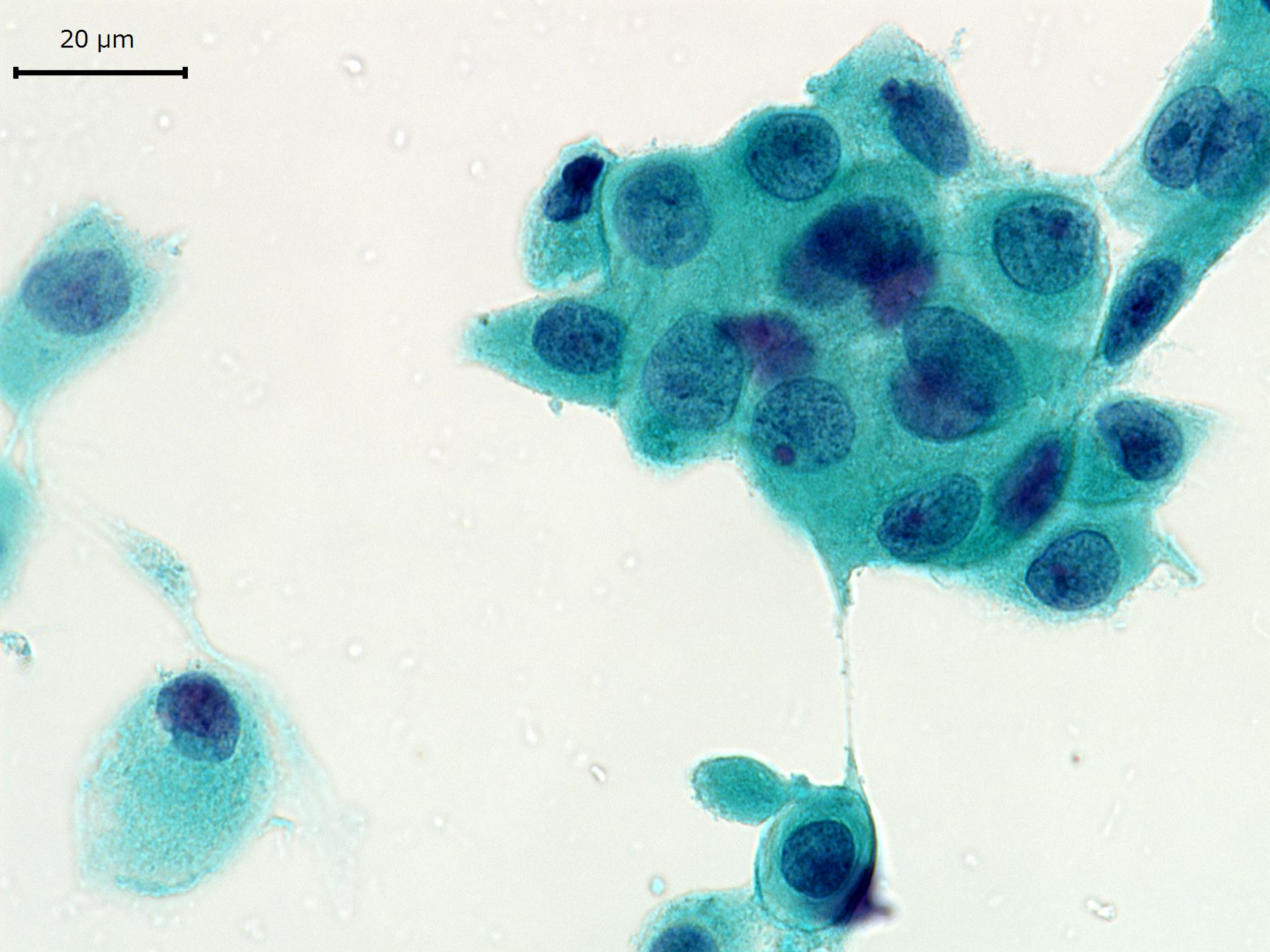
50 μm



20 μm



20 μm



選択肢

1. 扁平上皮化生細胞
2. HSIL/CIN2
3. 扁平上皮癌
4. 大腸癌(腺系)の浸潤
5. 外陰癌(腺系)の進展